

連携の会を開催しました

地域医療連携室長 兼
緩和ケア科部長
安部 英治 Eiji Abe

2026年9月25日、ホテルキャッスルにて「連携の会」を開催し、多くの先生方にご参加いただきましたことを深く感謝申し上げます。

講演会には多数の先生方にご臨席いただき、杉田院長より救急車受入件数の増加、入院患者数の回復、最新設備を活用した高度医療の提供状況など、当センターの現況を報告しました。続いて連携室から、紹介・転院相談窓口の一本化や初診予約の活用など、より円滑な連携に向けた取り組みを紹介しました。さらに外科の高難度腹腔鏡手術、消化器内科の内視鏡治療拡充、呼吸器内科の気管支鏡診断や生物学的製剤による専門診療、糖尿病代謝内科の悪性疾患早期発見への取り組み、循環器内科の心不全研修会や救急科としての活動、小児科の小児救急医療体制維持とアレルギー診療強化、放射線科の最新機器による高度画像診断、皮膚科のバイオ製剤を用いた専門治療、麻酔科の安全な麻酔管理と術後疼痛対策、緩和ケア科の病棟状況、をそれぞれ報告しました。

懇親会では、園田会長、平井熊本大学病院長、鶴田理事にお言葉を賜り、実に多くの先生方から励ましのお言葉や貴重なご意見を多数頂戴しました。今後の取り組みに活かしてまいりたいと考えております。

閉会に際しては、宮本副会長からご挨拶を賜りました。

医師会病院として、会員の先生方からご紹介いただいた患者さんを責任をもって診ることは当院の使命です。より安心してご紹介いただけるよう改善を続けてまいります。患者さんのご紹介どうぞよろしくお願い申し上げます。



熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時／2027年1月25日(月) 19:00～20:00

形式／ハイブリッド方式 オンライン参加 or 会場参加

オンライン参加：ZOOM 会場参加：新館6階ホール

申込方法

kumamotochiiki@gmail.com(※1)までメールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。(後日、詳細な参加方法についてご案内いたします。)



(※1) メール作成用QRコード

症例報告

『リブレ2を使用した血糖管理の糖尿病症例』
糖尿病代謝内科 笹原 誉之 医師

特別講演

『肺炎ガイドラインについて』
CC(カリキュラムコード)「7」:「医療の質と安全」
呼吸器内科 津村 真介 医師

※講演内容が変更となる場合がありますのでご了承ください。

Kumamoto Regional Medical Center



熊本市医師会
熊本地域医療センター

〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号
TEL 096-363-3311 FAX 096-362-0222
https://krmc.city.kumamoto.med.or.jp/



紹介や
転院調整相談
090-2964-0600



外来の予約
090-9472-1177



検査の予約
096-366-1323

Kumamoto
Regional
Medical Center

熊本地域医療センターだより

2026.11

Vol.258

Nexus

TOPICS ▶ ～安全で質の高い周術期医療を地域へ～

基本理念:かかってよかった。紹介してよかった。働いてよかった。そんな病院をめざし、地域社会に貢献します。





安全で質の高い周術期医療を地域へ



総合診療部長 兼
 麻酔科部長
柳 文治
 Fumiharu Yanagi

当院麻酔科は、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本ペインクリニック学会指定研修施設として、安全で質の高い周術期医療の提供に取り組んでいます。麻酔管理だけでなく、術前評価から術後疼痛管理まで一貫して患者さんを支える「周術期医療」を実践し、外科系各診療科、多職種と連携しながら、安心して手術を受けられる体制を整えています。

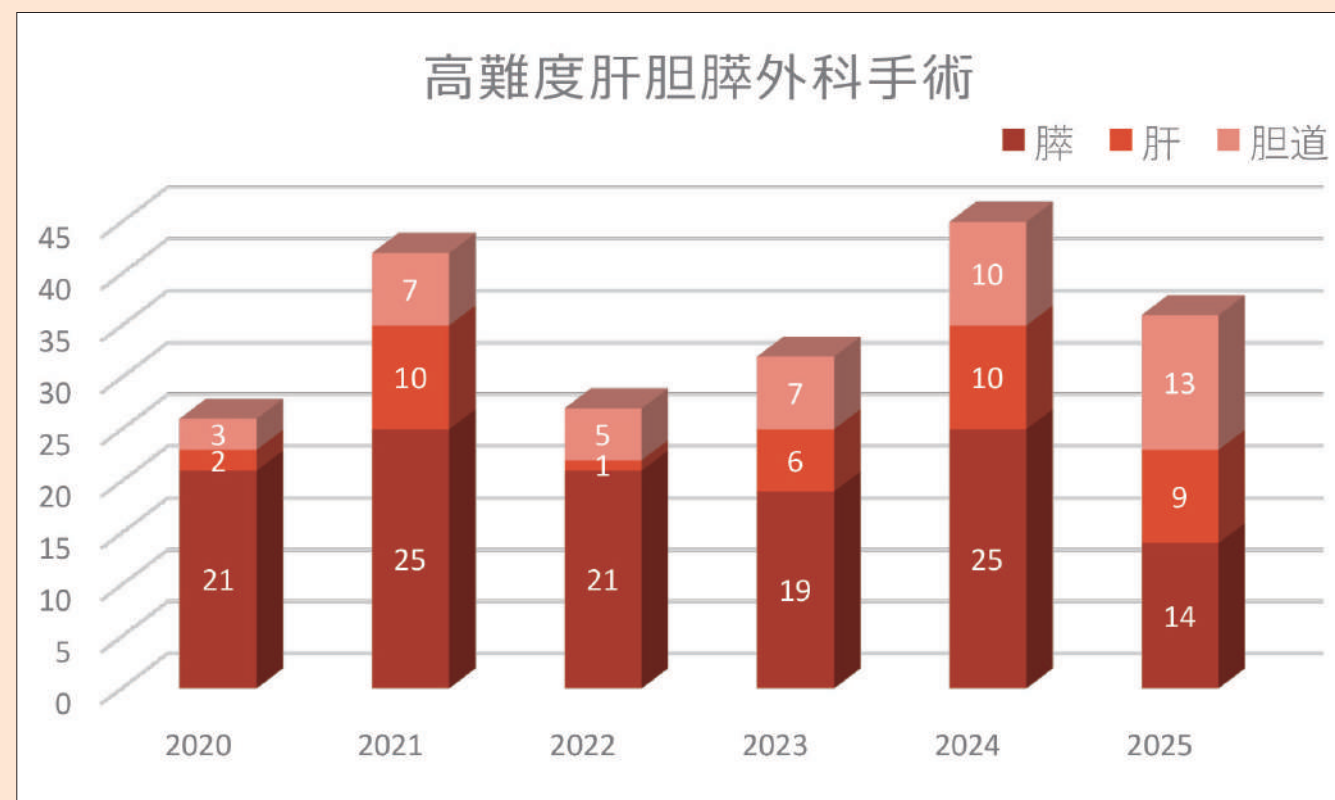
- ・日本専門医機構（麻酔科専門医）
- ・日本麻酔科学会（指導医）
- ・日本麻酔科学会（認定医）
- ・麻酔科標榜医
- ・日本ペインクリニック学会（専門医）
- ・臨床研修指導医
- ・日本医師会認定産業医
- ・労働衛生コンサルタント

表 1

	2022	2023	2024	2025
全手術症例数	845	868	839	755
麻酔科管理手術症例数	705	750	728	668
麻酔科管理全身麻酔	645	671	687	642
麻酔科管理緊急手術	117	168	204	205

当科では年間約 700 件の麻酔管理を担当しています（表 1 参照）。消化器外科、乳腺外科、小児外科を中心に、当院の特色である高難度肝・胆・膵手術（グラフ 1 参照）をはじめ、乳腺外科の短期入院手術、小児外科の 1 泊 2 日手術など幅広い手術に対応しています。

グラフ 1



※高難度肝胆膵外科手術とは、一般社団法人 日本肝胆膵外科学会が定める術式で、比較的簡単な肝胆膵手術（肝部分切除、肝外側区域切除、良性に対する膵体尾部切除術など）は含まれていません。

全手術の約 3 割を占める緊急手術にも 24 時間 365 日対応し、地域の救急医療を支えています。

術前には、患者さんの全身状態や併存疾患を十分に評価し、手術・麻酔に伴うリスクを予測したうえで最適な麻酔計画を立案しています。術中は麻酔管理、循環・呼吸管理、安全管理を行い、術後は疼痛管理や呼吸管理まで含めた継続的な周術期管理を実施しています。高齢患者や複数の基礎疾患を有する患者さんでは、多診療科・多職種によるカンファレンスを行い、安全性の向上に努めています。

近年はチーム医療にも積極的に取り組んでいます。2024 年からは術中麻酔領域パッケージ研修を修了した特定行為研修修了看護師が麻酔科医と協働し、より充実した周術期管理を実践しています。

また、薬剤師 2 名が日本麻酔科学会周術期管理チーム認定研修を修了し、術後病棟管理領域の特定行為研修修了看護師とともに、2024 年 9 月より術後疼痛管理チーム（Acute Pain Service : APS）を開始しました。

APS では、麻酔科医、薬剤師、看護師が連携し、術後疼痛の評価、鎮痛方法の最適化、副作用対策、早期離床支援を行っています。適切な疼痛管理は、患者さんの苦痛を軽減し、慢性手術後疼痛を予防するだけでなく、呼吸器合併症や血栓症の予防、早期回復・早期退院にもつながります。患者さん一人ひとりに合わせた質の高い術後管理を提供することも、当科の重要な役割です。

地域医療構想が進むなか、より安全で専門性の高い周術期医療への期待は高まっています。当院麻酔科は、高難度手術への対応、24 時間 365 日の緊急手術体制、多職種による周術期管理、APS による術後疼痛管理を強みとして、地域の医療機関との連携を大切にしています。

手術適応や周術期管理についてお困りの症例がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。今後も地域の先生方と協力しながら、安全で質の高い周術期医療を通して地域医療に貢献してまいります。

今後ともよろしくおねがいいたします